

# ギンバイソウ

*Deinanthe bifida* Maxim.  
アジサイ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は 18 箇所である。県内での生育地は限られており、生育基盤も脆弱なため、県域準絶滅危惧とした。

## 分 布

本州（関東以西）、九州に分布。県内では、敦賀市、美浜町、若狭町、小浜市、おおい町で確認されている。

## 種の特徴

樹林におおわれた沢沿いの斜面に生える多年草。地下茎は肥厚し、地上茎は直立して分枝せず高さ 40～70 cm。葉は広卵形あるいは広倒披針形で、茎の上部に 2～4 対。7～8 月頃、10～20 花を頂生。装飾花は白色または淡紅色。両性花は白色で梅花状。

## 生育を脅かす要因

生育地である森林の開発。植生遷移による生育環境の悪化。生育地が斜面であるため、自然災害も危険要因となる。また、獣害の影響も新たな脅威となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○	○	○											

# ウメガサソウ

*Chimaphila japonica* Miq.  
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は 13 箇所である。県内での生育地が限られており、園芸目的で採集される恐れが高いため、県域準絶滅危惧とした。

## 分 布

北海道～九州に分布。県内では、あわら市、大野市、福井市、越前市、美浜町、高浜町で確認されている。

## 種の特徴

やや乾燥した丘陵や山地の林内に生える常緑の草状の小低木。地上茎は高さ 5～10 cm。葉は長楕円形または披針形で、先はとがり、縁には全体にとがった鋸歯がある。茎の先に 1 個まれに 2 個の花をつける。萼片は披針形で長さは花弁とほぼ同長。

## 生育を脅かす要因

生育地の開発。植生遷移による生育環境の悪化。園芸目的の採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○	○								○	○			○	○

# ミヤマホツツジ

*Cladanthus bracteatus* (Maxim.) T.Yamaz.  
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は 3 箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山、高山に限られているため、県域準絶滅危惧とした。

## 分 布

北海道、本州（北中部）に分布する。県内では、勝山市、大野市で確認されている。

## 種の特徴

亜高山、高山に生える落葉小低木。高さ 30～50 cm。葉は倒卵形、先は円く、下部はしだいに狭くなって葉柄に流れ、両面とも無毛。7～8 月頃、枝先に総状花序を伸ばし、3～20 個の花をまばらにつける。花弁は 3 枚で反り返り、萼は 5 片に基部まで裂ける。

## 生育を脅かす要因

生育地である高山・亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備での注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔（1989b）、福井県植物研究会編（1999）  
福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	